

平成 24 年度 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン インテンシブコース（がん看護実践能力強化コース）セミナー アンケート集計結果

日時：2013 年 3 月 2 日（土）10:00～12:00 13:30～16:00

場所：TKP 三宮会議室 会議室 3

テーマ：

『がん医療における最新情報！がん看護に必要な“補完代替療法”と“免疫療法”の知識』

午前「補完代替療法の基礎知識」、午後「免疫療法の原理と臨床研究の最新事情」

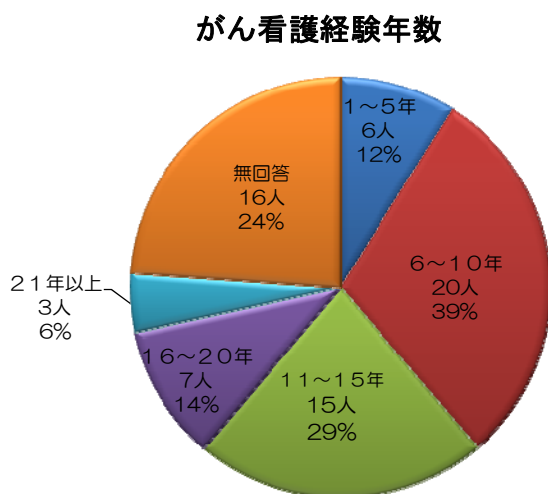
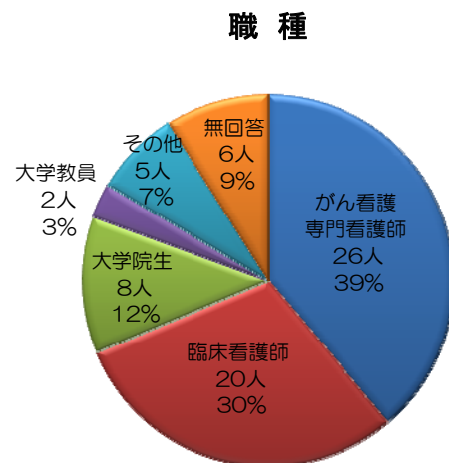
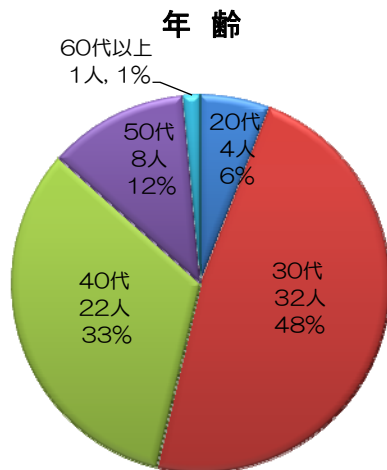
講師：大野智先生（早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構）

受講生：78 名（午前 62 名、午後 66 名、のべ 128 名） アンケート回収：67 名（回収率：85%）

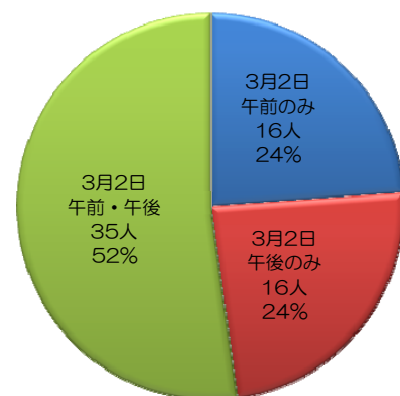
主催：兵庫県立大学看護学研究科 代表：内布敦子

＜アンケート集計結果＞

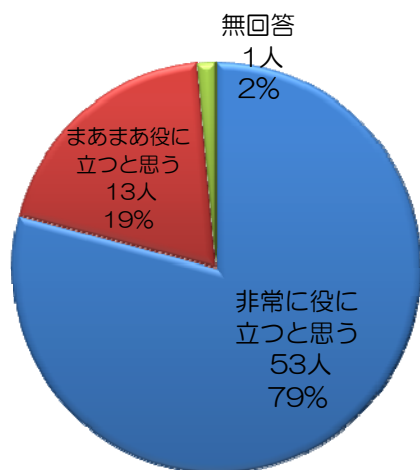
Q 1：最初にあなた自身のことについて、お尋ねします。



Q 2：参加時間



Q3-1：今回参加されたセミナーは今後役に立つと感じますか。



Q3-2：企画に参加してあなたが感じたことがあればご自由にお書き下さい。

①講義内容に関して

- ・免疫医療はベースとなる知識にはなりましたがまだまだ難しい。
- ・免疫療法については詳しく講義を受けたのが初めてだったので来れてよかったと思います。
- ・免疫療法について学びが深まったと思う。
- ・免疫療法の最新のものが分かってとても興味深かったです。
- ・免疫療法が話題になっているが、ほとんど知識がなかったので、貴重な学びになりました。
- ・補完代替療法や免疫療法に対する知識を深めることができた。
- ・補完代替療法や免疫療法をわらをもすがら思いで、患者さんやご家族が高額な費用をかけながら行っていることを思うと、私たち医療者がもっともっとしっかりと知識を持ち、情報提供しなければいけないと改めて思いました。
- ・患者からよく聞かれる質問中に、補完代替医療のことがありますので、とても勉強になりました。
- ・CAMでは情報をどこから得ればいいのかも提示して頂いたのがよかった。
- ・初めてCAMのことを知りました。Ptさんの方が知識を持っていることが多く、正直たじたじでした。CAMの基礎について学ぶことができ、何を今後勉強していけばいいのか、理解することができました。
- ・最新の知識を得ることができた。
- ・一般的な臨床の中では得にくい知識だったので、大変参考になりました。
- ・名前だけ知っていた治療法や薬の作用について、詳しく知ることができた。
- ・よくわかっていないことが知れてよかった。知らずに対応していたことに気づけた。

②今後の活用

- ・補完代替医療はガイドブックを見ながら患者さんと一緒に考えるツールになりそうです。
- ・明日からのがん相談に実際にいかせそうです。
- ・がん相談を担当しており、免疫療法是患者さんが興味をもつ領域のひとつだと感じている。これまで、独学で身に付けた知識を裏付ける研修内容だったので、今後役立てられると思った。
- ・免疫療法について理解しようと思うと、これまでとても難しかったのですが、今回とてもわかりやすい講義だったので、今回の内容を今後患者さんから相談があった場合、フィードバックしていきたいです。
- ・免疫療法について「高い物」とのイメージのみしか持っておらず、いろいろあることを知ることが出来た。これから期待できる物かなとも思う。
- ・がん診療現場で働いていると、患者様の方が、CAM 免疫療法の知識を持っていてハッとします。現在行っている治療と免疫療法をどう考えて勧めるのか、治療選択の意思決定を援助していくのか、そのために大切な知識を得ることができました。
- ・今まであいまいな理解でしかなかった。免疫療法を学習する機会を与えていただきありがとうございます。自己学習で学びを深めながらがん相談支援などの場で活用させていただこうと思います。
- ・今日の治療については、患者にきかれることも多く、今後は逃げずに話し合えそうです。
- ・患者様にとって、化学療法医療を受け、薬物的にいろいろな副作用に苦しめます。食欲不振や亜鉛中毒など、治療を受けての併害に何を食べてらいいの？食べたいのに食べられない免疫力が落ちるなど、進行や減少に関わらず日常の不安の中で代替療法に手を出さずにはいられないようです。しかし、私たちにはその代替医療法にあたる成分が分からないことが多く同意はできないのが現状です。
- ・説得するのではなく、納得することをめざす。という言葉が印象的。今後の臨床に大変役立つと思います。
- ・免疫療法については、患者・家族からも相談を受けることが多く、一度系統的に学びたいと思っていましたので、データなどが入れられており、とてもわかりやすかったです。今後、Pt への説明などに役立てそうです。
- ・看護実践に応用していくのに、少しさらに学習が必要かなと感じました。
- ・患者さんからの相談内容に対する対応として、専門的な観点から講義いただいたことは大変有用であった。

③セミナー運営・プログラム内容について

- ・むずかしい、入りにくいプログラムでしたが、わかりやすく導入（自己学習）の機会になりました。
- ・難しい内容でしたが、わかりやすく説明してもらえて理解が深まったと思います。

- ・なかなか学習する機会のない内容だったので大変良かった。
- ・日ごろ、新たな知識として勉強の必要性を感じながら自分では進まなかった分野なので、とても勉強になり臨床に活かせる内容だった。
- ・とても勉強になりました。
- ・なかなか勉強会のテーマとしてないテーマですが、患者さんの興味は大きく、相談されることも多いですので、非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・わかりやすく説明していただけて、最新の情報も教えていただけてよかったです。
- ・詳しく知りたいと思ってもなかなか学べる機会がない内容なので、楽しみにしてきました。どう調べればよいか、どう答えればよいかが実践的に学びました。
- ・他の研修会ではないテーマを取り上げてもらえて興味深かったです。
- ・これまであまり講義を受けることがなかった内容なので、非常に勉強になりました。不確実な部分が多いため、わかっていることとあいまいなエビデンスのない部分について整理ができました。
- ・日々、疑問に思っていたことが解決できました。参加できよかったですと思います。
- ・自己学習では難しい分野で現在の状況がよくわかったのでよかったです。
- ・思ったことが整理でき、よかったです。
- ・臨床にいかせるとてもよいお話だったと思う。
- ・学ぶ機会の少ない分野の講義でしたが、大変な学びになりました。ありがとうございました。
- ・以前、別の会による補完代替医療のセミナーを受けましたが、よくわからなかった印象があったのですが、今日はすごくわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・午前は、とても基本的とはいえ実はよく知らない背景を知れたことがよかったです。先生のお話もよくわかりました。
- ・研修費が無料で助かりました。勉強になりました。
- ・なかなか講義としてはうけられない内容でしたので、よかったです。
- ・午前から参加させていただき、とてもわかりやすかった。
- ・とてもよかったです。わかりやすかったし、以前からの疑問がとけました。
- ・薬剤師ですが、今回の講演を知り、当日参加させていただきました。以前より気になっていた点についての考え方、今わかっている現状等、わかりやすく教えていただいて感謝しています。
- ・非常に分かりやすかった。また講演をお聞きしたいです。
- ・普段聞くことができない貴重なセミナーだったので参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・本日の基礎講義は本当に勉強になりました。わかりやすい講義でした。

Q4：がん看護実践において、現在どのようなことが課題としてあげられるでしょうか。

また、それを解決するために必要な情報、知識はどのような内容でしょうか。

Q4-1：がん看護実践上の課題をお書き下さい。

- ・ Pt とのコミュニケーション
- ・ 意思決定
- ・ セルフケア支援
- ・ 私個人としては、告知された方やターミナルの方に対しどのように話していくか（疾患の受け止め方や思いなど）、コミュニケーションが課題です。
- ・ 治療長期化（仕事を持ちながら治療を受ける人の増加）→地域や企業で治療の副作用対策ができるようになれば・・・
- ・ 患者さんの方が情報を得ている→間違った知識にも多くふりまわされている
- ・ ジェネラリストは身体に関する理解が悪いため、Dr と協働するのに反障がある。
- ・ 情報、知識のスキルだけでなく、それを提供するスキルと施設のシステム構築能力。
- ・ がん種ごとの最新の医学的知識を up date していくことが難しい
- ・ がん医療、緩和ケアに関する意志決定
- ・ がん相談員として、日々院内外の Pt と接しています。さまざまな相談に対応できるよう、データ収集は常に大事だと感じます。
- ・ 治療期のがん看護と看護の独自の関わり
- ・ 家族性の疾患に対する看護
- ・ BSC への移行時期など、医師との考え方のズレがある
- ・ 終末期在宅ケアについて、サービスの内容・制度・患者の負担（金銭面）など
- ・ 治療器とターミナル期へのギアチェンジのタイミングや、家族、本人がうまく移行できるサポート、患者自身が判断能力を失った後の意思決定（家族、内縁）支援、知識としては、コミュニケーション技術や上記のような Pt、家族の精神状況とは一般的にどういう状況か
- ・ 治療段階の変化における意思決定での Ns の役割・タイミング・コミュニケーション
- ・ 在宅、終末期の急変事と、急性期病院との連携
- ・ 保険診療になっていない分、コスト面の問題もあり、必要だとは思っているが、なかなか導入できない
- ・ 医師とのコミュニケーション不足
- ・ 急性期病院に勤務していると、なかなか見過ごしてしまうのが本日の内容です。
- ・ 医師の指示ではなく、ナース自身がアセスメントに取り組んだ結果について「可視化」すること。成果として示すこと。エビデンスの構築。
- ・ 当院の外来は中央処置室がなく、各科外来で腹水穿刺など、ターミナル患者さんの処置が行われていますが、外来看護師数の削減で個別に介入することができていません
- ・ 治療法の選択や効果判定の知識不足で先を見据えたりハが実践できていない。

- ・ Pt、Fa、医療者にとって必要な情報を得るための方法の提示を明確にしてほしい

Q 4-2 : 今後、セミナーで取り上げて欲しいテーマをお書き下さい。

- ・ 遺伝子治療
- ・ 性機能障害の分野
- ・ 意思決定支援に関すること
- ・ 意思決定支援について
- ・ サイバーシップ
- ・ 晩期合併症
- ・ サイコオンコロジー
- ・ 特に血液がんに関するセミナー
- ・ 先進医療
- ・ グリーフケア
- ・ 小児がんの子を持つ親のケア
- ・ 家族支援
- ・ ヨガ
- ・ リンパ浮腫
- ・ アロマ
- ・ コンサルテーションに関するセミナー
- ・ CN、CNS コラボや違いについて
- ・ CN、CNS がする院内教育
- ・ QOL 評価①ナース自身で採用できる検体を用いて
②評価尺度の開発あるいは紹介（長所、短所）
- ・ サイモントン療法
- ・ がん看護における倫理的課題

Q 5 : その他ご意見など

- ・ セミナーの案内をメールでして頂けるよう、メール登録のできるようなシステムにしていただければと思います。
- ・ 質疑応答、ディスカッションの時間もあるとよかったです。

以上